

国道16号等、千葉県北西部の交通の円滑化を目指した計画について

—千葉柏道路—

発行：千葉柏道路検討会

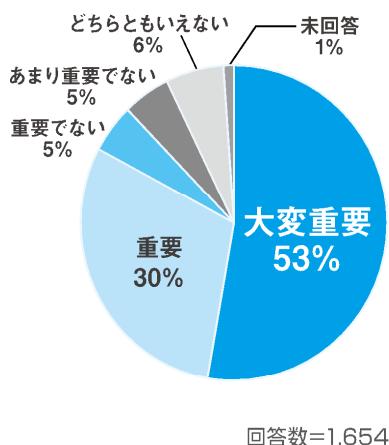
国、千葉県、茨城県^{*}、野田市、柏市、我孫子市、印西市、白井市、八千代市、取手市では、「千葉柏道路検討会」を平成18年10月に設立し、国道16号等、千葉県北西部の交通の円滑化を目指した道路計画の検討を進めています。

みなさまから頂いた意見及びこれまでの検討を踏まえ、概略計画案の作成作業を今後進めてまいります。

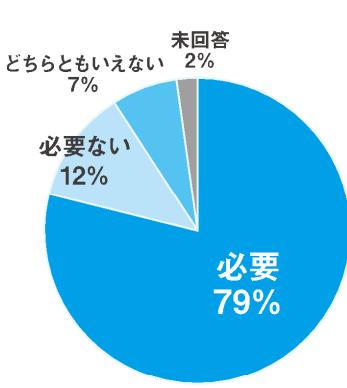
国道16号等、千葉県北西部の交通の円滑化を目指した「道路計画のたたき台（平成19年4月）」を示したところ、多くの方からご意見を頂きました。

- 全体の約8割の方が「渋滞問題を解決」することが「大変重要」「重要」と回答しています。
- 「国道16号バイパスの必要性」について、約8割の方が「必要」と回答しています。
- 「利根川沿いルート案」については、約7割の方が「良いと思う」とする一方で、約2割の方が「良くないと思う」と回答しています。

問：千葉県北西部における国道16号の渋滞を解決することはあなたにとってどの程度重要なと思いますか？

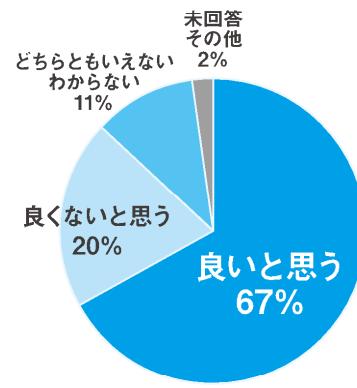


問：渋滞や交通事故等の問題を解決する国道16号バイパスの必要性を感じていますか？



回答数=1,654

問：今回提示した計画のたたき台「利根川沿いルート」についてお聞かせ下さい。



回答数=1,654

* 茨城県、取手市は、平成19年5月から検討会へ参画しています。

市民アンケートでいただいた主な意見

- 市民アンケートでは、1,654人の方々から2,165件のご意見をいただきました(複数回答を含む)。
- 意見としては、「計画のたたき台(考え方)に関する意見」が1,884件(87%)、「今後の具体的なルート検討に向けた意見」が281件(13%)となっています。

1. 計画のたたき台(考え方)に対する意見

(1,884件)

(1)バイパス整備は必要 (1,576件)

- | | |
|---|---|
| (1)-1「利根川沿いルート(案)が良い」というご意見
(1,325件) | (1)-2「利根川沿いルート(案)は良くない、どちらとも言えない」というご意見
(251件) |
|---|---|

〈主な意見〉

- 事業の早期実現が期待される (467件)
- 広域的な渋滞緩和効果がある (451件)
- 既成市街地から離れることから、住環境への配慮が期待される (305件)
- 地域間交流の活性化が促進できる (78件)

(2)バイパス整備は必要ない (308件)

〈主な意見〉

- 利根川沿いルートは大きく迂回することから、渋滞緩和効果があるか疑問 (125件)
- 国道16号の現道を改良(全線拡幅、地下道路化、2階建構造)することで、交通容量が拡大 (45件)
- 利根川沿いの自然環境や住環境に配慮したルート・構造検討が必要である (35件)
- 北千葉道路、千葉外かん、圏央道が整備されれば、現在の国道16号で十分である (9件)
- 既存道路(国道、県道、市道、農道)を整備し活用するべき (17件)

2. 今後の具体的な検討に向けた意見(計画の賛否に関わらず、すべての回答より整理集約)

〈主な意見〉

- 将来の周辺地域の考え方(土地利用状況、交通安全、渋滞対策等)についても明示して欲しい (69件)
- 計画案に対して、交通量の予測、渋滞要因、費用対効果等を明示して欲しい (68件)
- 沿道住民に対して十分な説明が必要である (38件)
- 矢印から先(起終点を含む)の計画を明示して欲しい (37件)
- 千葉県北西部の国道16号以外の渋滞区間も含めて整備効果を整理して欲しい (32件)
- 高規格な道路で主要交差点は立体化して欲しい (20件)

* アンケートは、リーフレット(新聞折込、パネル展等で配布)からの回答、インターネットによる回答等を集計したものです。

これまでの経緯(参考)

平成13年に設立した千葉柏道路協議会を延べ19回開催し、千葉柏道路の計画づくりに関する「5項目の提言を公表(平成18年6月)」

【提言1:現状認識と対策の必要性】

現在の国道16号には交通渋滞とこれに起因する環境悪化などの問題が多く、この問題を放置できないため、交通容量拡大を軸とした何らかの対策が必要である。

【提言2:計画コンセプト】

対策の検討にあたり将来の「東葛らしさ」を踏まえた我々が考える「みちづくり」「まちづくり」のコンセプトが重要である。良好な道路交通環境により、「東葛らしい」みちづくり・まちづくりを推進すべきである。

【提言3:対策案の検討】

抜本的な問題解消のためにはバイパス案が有効である。併せて、将来も主要道路として機能する現国道16号の対策を行うことも必要である。

【提言4:バイパス案の考え方】

バイパス案については、渋滞緩和等の交通機能に加え、手賀沼の保全や既成市街地への影響といった評価も重要であり、住民からの意見が多く協議会委員からも意見があった既成市街地や手賀沼を迂回する利根川沿いのルートを含め、起終点位置など様々な視点から十分に検討すべきである。

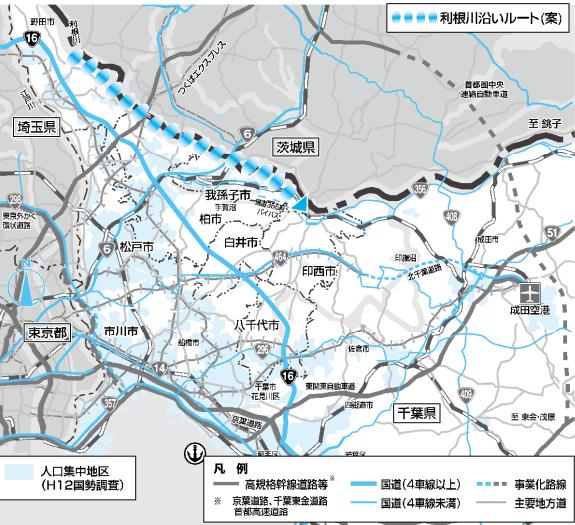
【提言5:今後について】

今後は、周辺道路や沿道の土地利用、それをもじだす風致景観を勘案しながら、地域と行政が協働しつつ専門的な視点から検討を行るべきである。

提言を受け、行政*で検討を進めました。

国道16号等、千葉県北西部の交通の円滑化を目指した「計画のたたき台」の提示(平成19年4月)

「利根川沿いルート」を具体的に検討する案として考えました。



① 住環境の配慮

地域にお住まいの方々の理解が得られるよう、既成市街地への配慮をしていきます。

② 周辺環境との調和

手賀沼の景観をはじめとする自然環境への影響が小さいと考えています。また、現在ある利根川周辺の自然環境や周辺地域への影響に関しても配慮していきます。

③ 広域的な渋滞緩和

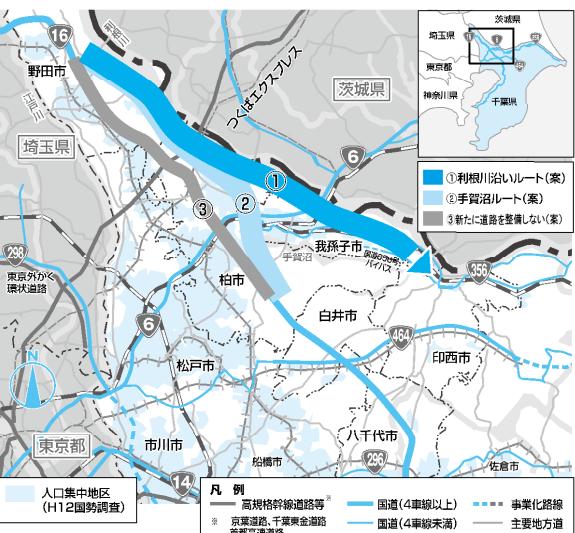
野田市～八千代市(国道16号)の区間を大きく迂回することから、広い範囲での交通渋滞・混雑の緩和が期待されます。

④ 地域間交流の活性化促進

広域的な道路ネットワークが築かれることにより、茨城方面はもとより、千葉ニュータウン、成田方面などとの連携が高まり、地域間の交流が促進され、地域の活性化に寄与すると考えています。

* 矢印表示(▶):当面、既存の道路ネットワークの活用を基本に、千葉ニュータウン、成田、国道16号方面、茨城県方面等への円滑な交通分散体系を検討していきます。
さらなる延伸については、交通の状況を見ながら対応を検討する予定です。

なお、「利根川沿いルート」を具体的に検討するにあたり、以下に示す3つのルート案を比較検討しました。



① 利根川沿いルート(案)

野田市～八千代市(国道16号)の渋滞区間を大きく迂回することから、広域での渋滞・混雑の緩和が期待されます。利根川沿いルートの自然環境や、近接する既成市街地の住環境への配慮が必要となります。

② 手賀沼ルート(案)

手賀沼や既成市街地を通過するルートで、呼稼交差点を中心とした野田市～柏市(国道16号)の渋滞緩和が期待できます。手賀沼などの景観や、自然環境への配慮が必要です。また、既成市街地を通過するルートのため、住環境への配慮も必要となります。

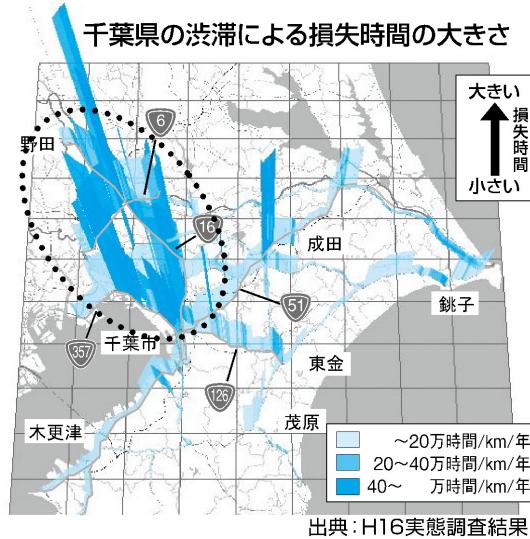
③ 新たに道路を整備しない(案)

国道16号の交差点改良やバス停車帯等の局所的な改良は実施します。しかし、抜本的な渋滞・混雑緩和は期待できません。また、将来的にも国道16号の渋滞・混雑の緩和が期待できることから、生活道路を含めた広い範囲での住環境の悪化が懸念されています。

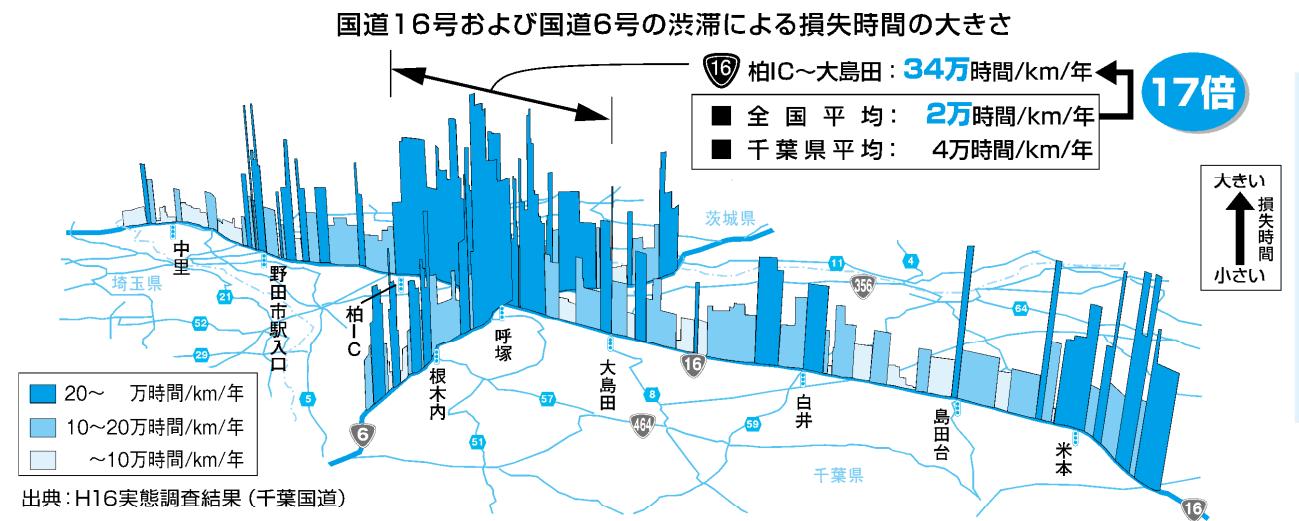
* 行政:千葉柏道路検討会(国、千葉県、関係6市(野田市、柏市、我孫子市、印西市、白井市、八千代市))
[平成19年4月現在]

千葉県北西部の現在の交通の状況を示します。

千葉県北西部は、県全体の渋滞損失時間の約7割を占めています。



国道16号の柏IC～大島田間の渋滞損失時間は全国平均の約17倍にもなります。



市民アンケートからもバイパス整備の必要性について、多くの賛同を頂きました。



千葉県北西部は、激しい渋滞等から交通機能が低下しています。

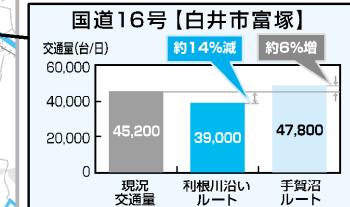
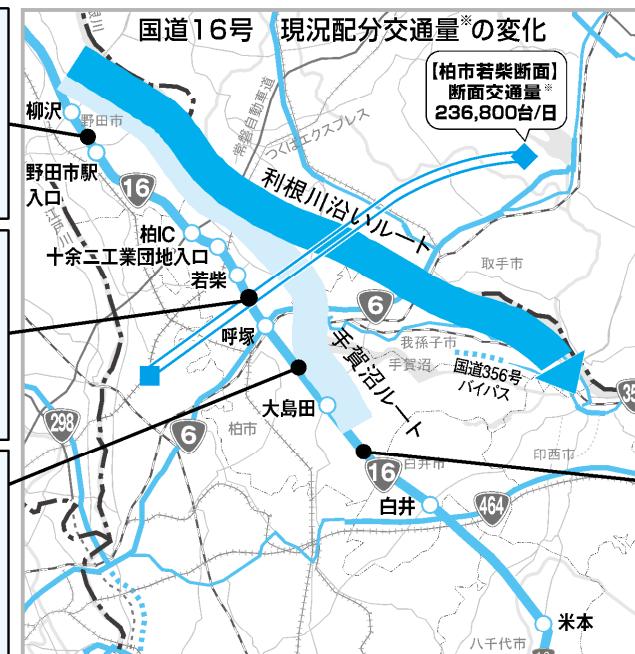
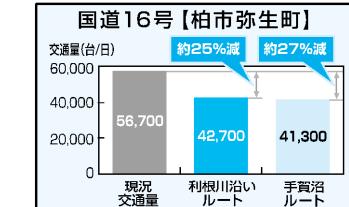
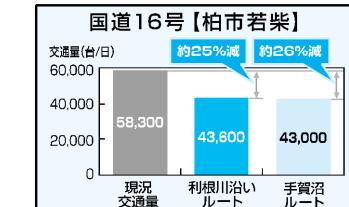
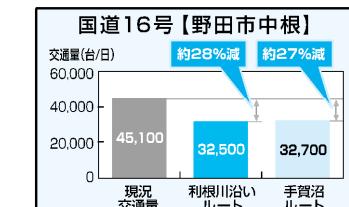
地域の生活向上や地域の発展・まちづくりのため、その対応策が必要となっています。

市民アンケートの結果からも「利根川沿いルート(案)が良い」というご意見(1,325件)を頂いております。

利根川沿いルートを具体的に検討しました。

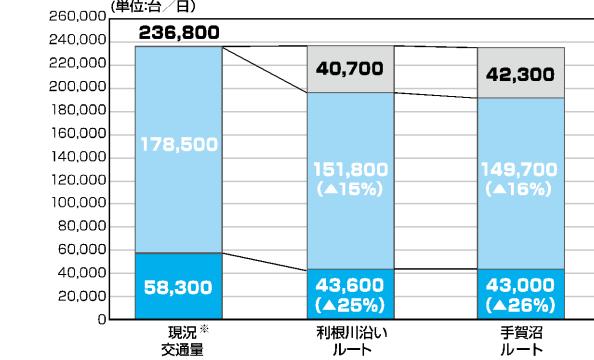
バイパスの整備により渋滞の緩和が期待されます。

- 国道16号柏市呼塚交差点を中心とした区間の交通量は、「利根川沿いルート」「手賀沼ルート」いずれの場合でも概ね25%程度の減少が見込まれます。



- 国道16号や周辺の道路を通過する交通が千葉柏道路へ転換することが見込まれ、混雑の緩和が期待されます。

断面交通量の転換状況【柏市若柴断面】



*用語の説明

- ・現況交通量：平成17年度一般交通量調査による実測交通量
- ・現況配分交通量：平成17年の交通の流れを基に求めた値
- ・断面交通量：断面を通過する、上り下りの交通量の合計値

（）内の数字は、現況に対する増減率

- 国道16号柏市呼塚交差点を中心とした区間の交通量は概ね25%程度の減少(約43,000台/日)が見込まれます。

○ 千葉県内の主要幹線道路で、約43,000台/日に相当する交通の様子を紹介します。



現況交通量 42,500台/日
国道16号(八千代市米本付近)

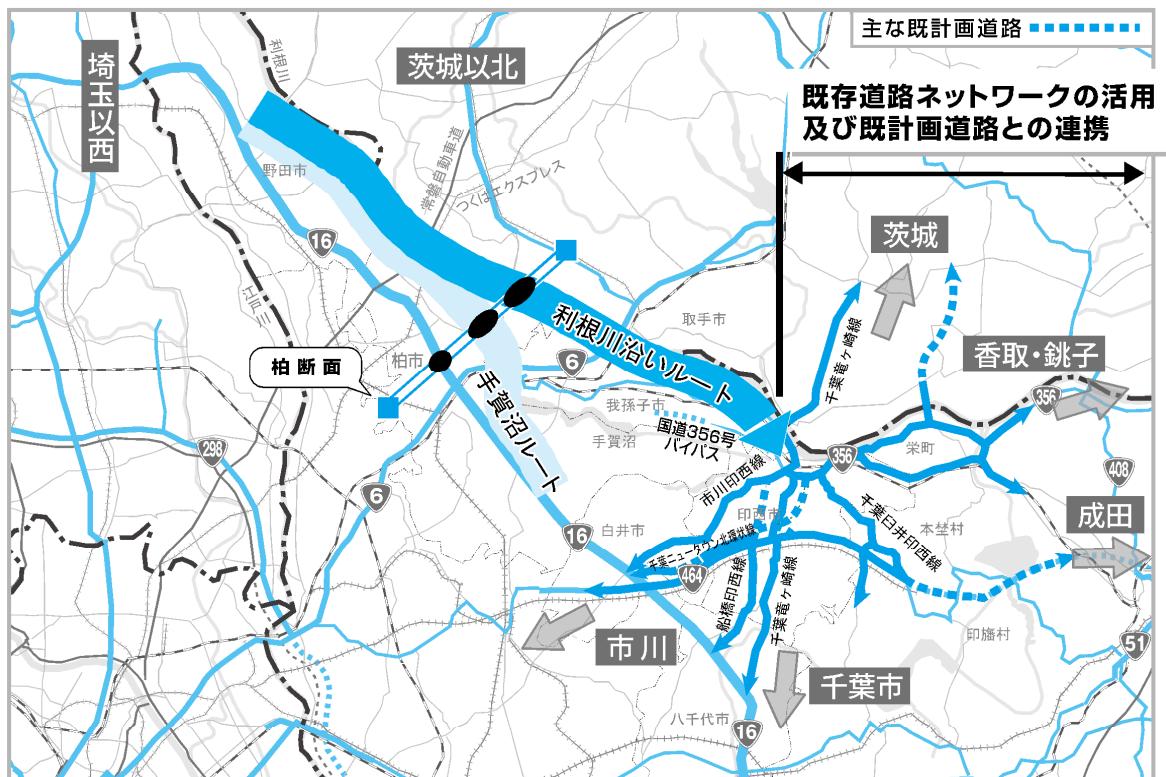


現況交通量 43,200台/日
国道16号(木更津市長須賀付近)

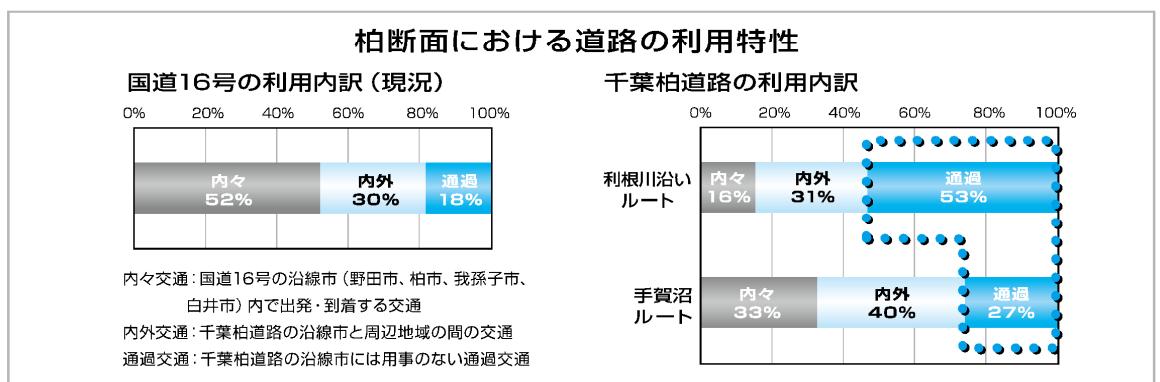
- 写真是、朝7時台の交通が集中する時間帯の状況を撮影したものです。
- 時間帯による交通の集中や沿線の状況等によって交通の流れは異なります。八千代市米本では、朝夕の交通が集中する時間帯で若干の混雑が見られます。

利根川沿いにバイパスを整備することにより、広域的なネットワークが形成されます。

- 利用交通量は、「利根川沿いルート」「手賀沼ルート」いずれの場合も、概ね3万~4万台/日程度が見込まれます。
- 「利根川沿いルート」は、「通過交通」が半数以上を占めており、バイパスの機能が発揮されます。
- 「利根川沿いルート」は、既存道路ネットワークの活用及び既計画道路と連携することにより、千葉ニュータウン、成田、国道16号方面、茨城県方面等への円滑な交通の分散が期待できます。



- 利根川沿いにバイパスを整備することにより、国道16号、周辺道路の交通が千葉柏道路へ転換することが見込まれ、国道16号を含め周辺道路の混雑の緩和が期待されます。



- 利根川沿いにバイパスを整備することにより拠点間の交通円滑化が見込まれ、地域間連絡の利便性の向上が期待されます。



●具体的検討内容

	交 通	環 境	事業効率性	評価
利根川沿いルート(案)	<ul style="list-style-type: none"> 野田市～八千代市（国道16号）の渋滞区間を大きく迂回することから利便性が向上し、広域的な範囲での渋滞・混雑の緩和が期待される。 <ul style="list-style-type: none"> 千葉柏道路の利用交通量は、概ね3~4万台/日程度と見込まれる。国道16号柏市呼塚交差点を中心とした区間の交通量は概ね25%程度の減少が見込まれる。 国道6号及び国道356号、北千葉道路（国道464号）と接続が可能となり、茨城方面や千葉ニュータウン、成田方面など新たな地域連携が形成される。 <ul style="list-style-type: none"> 道路利用のうち通過交通が半数以上を占めており、バイパスの機能が発揮されるものと考えられる。 利根川沿いにバイパスを整備することにより、千葉県内ののみではなく茨城県側も含めた広範囲での交通転換・交通混雑緩和が期待できる。 広域的なネットワークが形成されることで、拠点間の交通の円滑化が見込まれ、「広域アクセスの強化」、「商圏の拡大」、「物流の円滑化」などが期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 利根川沿いに近接する既成市街地に対する、住環境への配慮が必要となる。 市街化区域内通過延長は「手賀沼ルート」に比べ、短くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既成市街地の通過を最低限とすることができることにより、効率的な事業進捗が期待できる。 既存の道路計画の活用が可能となる。 既成市街地の通過を最低限とするなどに加え、既存道路ネットワークの活用及び既計画道路と連携することにより、効率的な事業展開が図られ、千葉ニュータウン、成田、国道16号方面、茨城県方面等への円滑な交通分散が期待できる。 	
手賀沼ルート(案)	<ul style="list-style-type: none"> 呼塚交差点を中心とした野田市～柏市（国道16号）の渋滞区間を迂回することから、呼塚付近の渋滞緩和が期待できる。 <ul style="list-style-type: none"> 千葉柏道路の利用交通量は、概ね3~4万台/日程度と見込まれる。国道16号柏市呼塚交差点を中心とした区間の交通量は概ね25%程度の減少が見込まれる。 野田市～柏市の短い区間で迂回となることから、千葉ニュータウンや成田方面への連絡性は期待できない。 <ul style="list-style-type: none"> 道路利用のうち内外、内外交通が道路利用の中心となり、交通転換、渋滞緩和の影響範囲は利根川沿いルートに比べ限定される。 	<ul style="list-style-type: none"> 既成市街地を通過するルートとなることから、住環境への配慮が必要となる。 市街化区域内通過延長は「利根川沿いルート」の3倍程度。 	<ul style="list-style-type: none"> 手賀沼や既成市街地を通過することから、用地取得や環境対策などに多くの時間が必要となる。 既成市街地や手賀沼の通過などにより、効率的な事業展開を図ることは難しい。 	
整備新たに道路しない(案)	<ul style="list-style-type: none"> 交差点改良やバス停車帯等の局所的な改良を実施するが、抜本的な渋滞・交通混雑緩和は期待できない。 <ul style="list-style-type: none"> 国道16号には交通容量を大きく上回る交通が流入しており、局所的な対策では抜本的な対応とはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的にも、国道16号の渋滞・交通混雑緩和が期待できることから、生活道路を含めた広い範囲での住環境の悪化が懸念される。 渋滞に起因する様々な問題が進展する。 		

利根川沿いルートが有効

利根川沿いルートの考え方

千葉柏道路(利根川沿いルート)を評価したところ

○ 野田～柏区間の国道16号の交通量は概ね25%程度減少するなど、周辺道路を含めた交通混雑の緩和が期待されます。

○ 利根川沿いにバイパスを整備することにより、広範囲での交通転換、交通混雑緩和が図られ、地域間の連携、交通の分散が期待されます。

などの効果が見込まれることから、千葉県北西部の交通の円滑化には「利根川沿いルート」が有効と考えます。

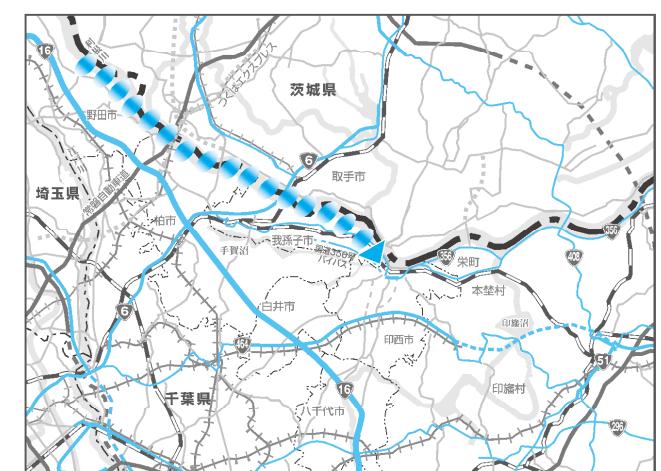
今後は

○ 住環境、自然環境等に十分配慮したルートを検討していきます。

さらに

○ 交通の状況に応じて、交差点改良等の現道対策を検討していきます。

○ さらなる延伸については、交通の状況を見ながら対応を検討していきます。



利根川沿いの構想ルート帯を検討していきます。

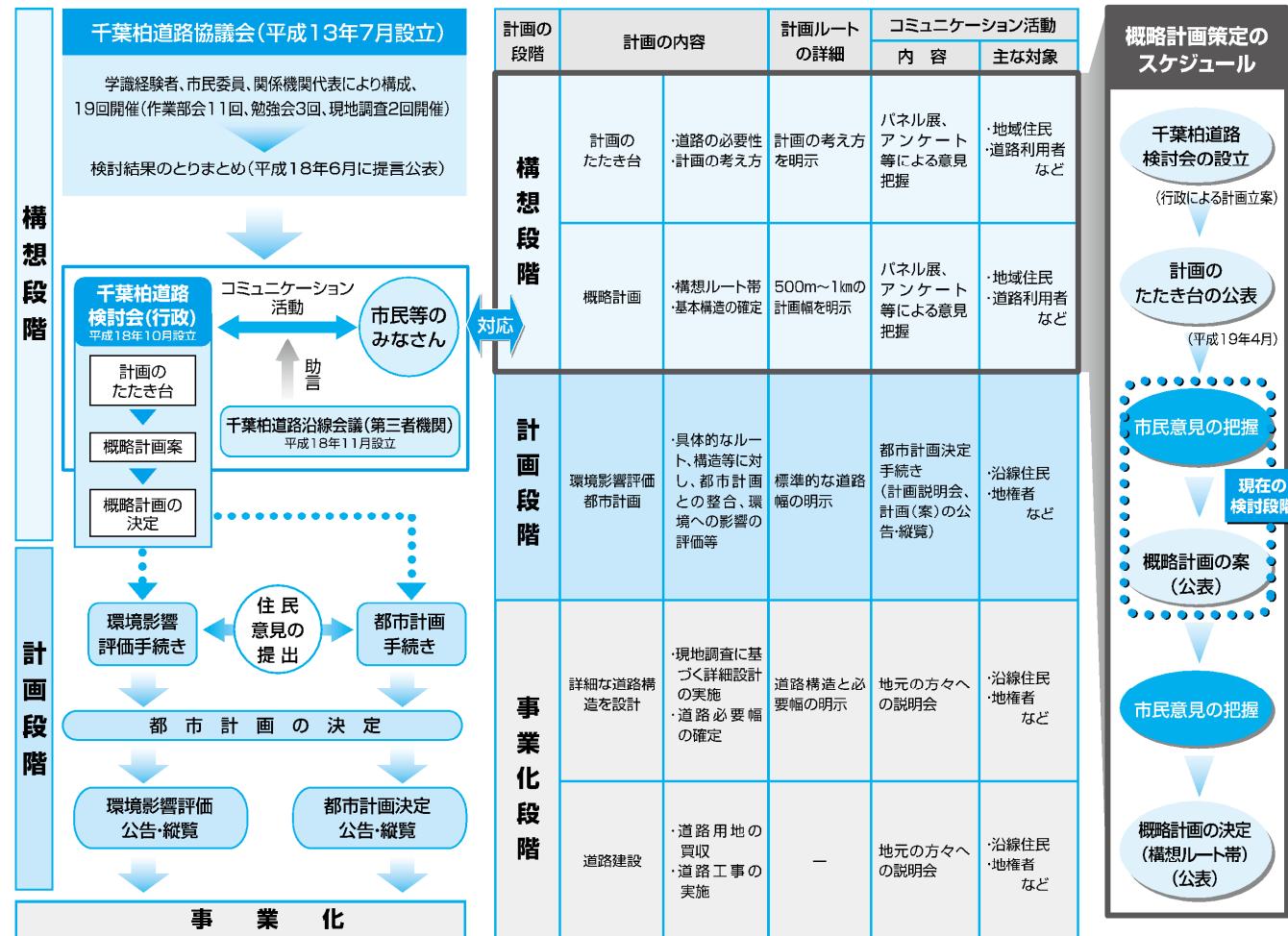
構想ルート帯とは

今後、具体的にルートを検討する際の概ねの位置と範囲を、約1kmの幅をもって示すものです。

地域の皆さんに、「千葉柏道路」についての情報をホームページなどを通じて広く提供していきます。

概略計画策定に向けたコミュニケーション活動など、みなさまの意見を把握していく方法について、

市民の参画を得た第三者機関の「千葉柏道路沿線会議」から、助言をいただきながら進めています。



※ 千葉柏道路沿線会議から、「交通量の見通しに関する数値を、市民にわかりやすく表現すること」、「既存道路の活用についての考え方を示すこと」といった助言を頂いています。

●千葉柏道路概略計画の案の策定に向けて

千葉県北西部の交通の円滑化を図るため、千葉柏道路のルートや既存道路との接続を検討する範囲を明示する「利根川沿いの構想ルート帯」の検討をしていきます。

今後、具体的に道路を計画するにあたって配慮すべき点、交通量の見通し、計画の課題を「構想ルート帯」の公表と合わせて示していきます。

今回の検討内容の詳細については『ちばこく』ホームページをご覧下さい。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/>

ご意見、問い合わせ先は、国土交通省 千葉国道事務所「千葉柏道路」担当へ
TEL: 0120-494-016 FAX: 043-256-0841 Mail: chiba-kashiwa@ktr.mlit.go.jp